

シンポジウム

「田んぼと食卓を笑顔にする 米粉のミライ」

主食用米の需給バランスが不安定な中、水田農業の存続と多様な食文化の両立を図るうえで、「米粉」は重要な役割を担っています。米粉用米の生産によって国内の水田が維持されることは、環境保全や地域の存続、農村文化の継承など、多面的機能の観点からも大きな意義があります。また、米粉を使った麺やパンなどの食品は、食料自給率の向上やアレルギー対応など、食料安全保障や健康面での利点も多く、世界的にも注目が高まっています。さらに、アジア圏に広がる多様な米粉文化を踏まえても、日本農業の未来において米粉の活用は欠かせません。

私たち特定非営利活動法人「国内産米粉促進ネットワーク(米粉ねっと)」では、今こそ必要とされる国内産「米粉」の価値について、生産現場・食品・料理・飲食業界・食べる人など、さまざまな立場の皆さまと共に考えるシンポジウムを開催いたします。

今回は、米粉に携わる人々を描いたノンフィクション『米粉はミライ！ 日本の食と農を拓く挑戦物語』(旬報社刊)の著者であり、日本各地の水田や農地を取材してきた石井里津子氏をゲストに迎え、米粉と健康、そして食の未来についてともに考えます。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

日時: 2026年2月1日(日) 10:30~12:30

会場: THE POINT 新橋 大会議室「チャップリン」 新橋駅徒歩1分・駅直結

住所: 東京都港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館607号室THE POINT新橋「チャップリン」

【プログラム】

1. 主催者あいさつ・米粉の現状報告

萩田 敏(理事長)

2. 基調講演

『米粉はミライ！ 日本の食と農を拓く挑戦物語』

石井 里津子 氏(ノンフィクションライター)

3. パネルディスカッション

テーマ: 「田んぼと食卓を笑顔にする米粉のミライ」

進行: 小谷 あゆみ(農業ジャーナリスト／フリーアナウンサー)

パネラー:

- ・石井 里津子 氏(ノンフィクションライター)
- ・藤田 斉弥 氏(Miami Group 代表取締役／居酒屋店舗経営／米粉食品販売)
- ・横田 祥 氏(有限会社 横田農場／農業生産者／米粉販売／食農教育プレゼンター)

米粉はミライ！ 日本の食と農を拓く挑戦物語
著者: 石井 里津子
出版社: 旬報社



申し込み方法: 下記メールアドレスまたは右のQRコードからご連絡ください

・先着順

・申込先: E-mail: sympo@cap-net.jp

・申込内容: ①件名に シンポ参加(氏名) ②氏名 ③住所(市町村名のみ) ④TEL ⑤E-mail

申込期限: 2026年1月10日(土)まで



主催: NPO法人国内産米粉促進ネットワーク(米粉ねっと)